Veda Hutbesi'nden Mesajlar　２００９年５月８日

親愛なるムスリムの皆様。

人々を導く預言者たちは、アッラーのしもべたちへの恵みです。この恵みは、預言者アーデムから預言者ムハンマドまで続きました。預言者ムハンマドはこの系統の最後の存在であり、人類すべてに遣わされたのです。

預言者ムハンマドは６３２年、別れの巡礼において１０万人以上の人を前に『最後の説教』（別れの説教）として知られる簡潔な説話を行なわれました。この説話は簡単にいうと次のような内容を含むものでした。

◇教えの基本はタウヒード（唯一神）信仰によるものであり、崇拝されるにふさわしい存在はアッラーのみであること

◇イスラームに基づく友情・兄弟愛が根本にあり、地域的または肉体的な違いは重要ではないこと。アッラーの位階における人の価値は、アッラーに従わないような振舞いを避け、あるべき形で敬意を示すことによって示されること。

◇人の最も基本的な権利である生存権、財産所有権、そして家庭生活は神聖で不可侵なものであること。

◇信託を大切に扱い、必ず持ち主に返すこと。

◇個人や社会の生活、経済的・商業的活動に否定的な影響を及ぼし、不正な利益を手にする要因となる利子が禁じられたこと。

◇決して誰も、実際には行なっていない罪を根拠に責任を問われることはないということ。

◇男性が女性に対して権利を持っているように女性も男性に対して権利を持っていること。女性はアッラーからの信託であること。結婚はただアッラーの名において誓約を行い、法的な婚姻契約によってのみ可能であること。

◇限りなく人々に光を与えるアッラーの書クルアーンと、預言者ムハンマドの生き方であるスンナは、人類への比類なき遺産であるということ。もしムスリムがこの二つの源にしっかりと結びつけば、決して逸脱することも不幸になることもないということ。

◇この歴史的な説話を、その場所にいない人々、言い換えるなら未来の世代にも伝えなければならないこと。

親愛なるムスリムの皆様。

預言者ムハンマドによって１４世紀前、その死の数ヶ月前に語られ、しかし今日の世界での苦しみへの癒しとなる原則を含んでいるこれらの言葉を何度も何度も読み、人生において体現するべく努めましょう。そのようにして預言者ムハンマドにふさわしいウンマとなるよう努力しましょう。

今日のフトバをクルアーンの言葉によって締めくくります。アッラーは次のように仰せられています。

「われは只万有への慈悲として、あなたを遣わしただけである。」

「また使徒があなたがたに与える物はこれを受け、あなたがたに禁じる物は、避けなさい。」